

杉並区長 田中良 殿
杉並区教育委員会教育長 井出隆安 殿

新型コロナウイルス感染症対策の抜本的強化を求める緊急の申し入れ

2020年3月25日
日本共産党杉並区議団

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う全国の小中高校の一律休校や、公共施設の利用制限、イベントの自粛などで、区民の生活と生業にかつてないほどの影響が出ています。区民からは「感染の心配があるが検査してもらえない」「学校給食の食材を納入できなくなり、廃業せざるを得ない」「フリーランスで今後の仕事の見通しが全く立たない」などの不安の声が寄せられています。かつてのリーマンショックとは異なり、区内の実体経済、区民の実生活に直接的に影響が発生しており、今後どれほど広がるのか未知数であると言わざるをえません。

いまこそ、杉並区が区民の命とくらし、生業を守り支えるという自治体の責務を果たすことが求められます。

日本共産党杉並区議団は、区民生活を守り、子どもたちの健やかな成長を保障するために、現時点において、下記項目について緊急に要望するものです。

記

【感染拡大の防止、医療対応に関して】

- ① 区民、区内業者のあらゆる相談をワンストップで受けるための「新型コロナウイルス総合相談窓口」を設けること。
- ② 感染の不安があり検査を求めている区民が、医療機関や保健所で適切な検査を受けられない実態がある。こうした実態を把握し、適切な感染検査へつなげること。
- ③ 区内で感染者が確認された場合は、プライバシーに最大限の配慮をしつつ、感染者が主にいた場所や利用した交通機関・時間帯などの情報と区の対応を合わせて公表すること。
- ④ 高齢者や障害者の福祉施設・事業所や、保育園・学校など子どもの施設、区内医療機関などから状況を聞き取り、マスク、消毒液、ペーパータオル、ビニル手袋、防護服、アイガードなど、必要な物資が行き届くよう区として対策を講じること。
- ⑤ 区が行う新型コロナウイルス感染症対策に係る各会議体については、今後起こりうる感染症対策と検証に活用するため、議事録を作成し、可能な限り議会と区民に公開すること。

【子どもと教育に関して】

- ⑥ 小中学校の給食食材等の納入業者に対し、学校の一斉休校に伴い発生した損失を補てんする措置をとること。
- ⑦ 要保護、準要保護児童に対して、休校中の昼食費の補助など経済的な支援を実施すること。
- ⑧ 休校期間中に行う予定だった学習について保障すること。
- ⑨ 春休み期間を含め、子ども達が運動や学習できる居場所を保障すること。
- ⑩ 区内で運営している子ども食堂について影響を把握し、利用していた子ども達と実施団体への支援を強化すること。

【事業所、中小業者、働く人への支援に関して】

- ⑪ 新型コロナウイルス感染症の影響で休業等による収入減・失業等により生活に困窮している方、特に個人事業主、フリーランス、非正規職員や日雇い労働者などの実態把握を行うこと。
- ⑫ 区の方針・要請に基づくイベントや事業の休止・中止・延期でもたらされた実害を調査・把握し、補填措置を行うこと。
- ⑬ 国が実施している、無利子、無保証人の「緊急小口資金」「総合支援資金（生活支援費）」について、区ホームページ、SNS、掲示板、広報などあらゆる媒体を活用し区民周知を強化すること。
- ⑭ 国の対策で不足している生活支援策、業者支援策を区独自に上乘せするとともに、区独自の支援策を行うこと。
- ⑮ 国民健康保険の短期保険証の留め置きをやめ、直ちに送付すること。また、資格証明書交付世帯に対し、緊急措置として一律に短期保険証を発送すること。
- ⑯ 国保料、介護保険料、後期高齢者医療保険料や特別区民税の支払いに困難が発生している世帯に対し、緊急減免、緊急猶予などの措置をとること。
- ⑰ 私立認可保育園の職員やその家族が発熱など感染の疑いにより休職（出勤停止命令等）となり、一時的に代替の職員等を雇用した場合は、特別パート加算等の形で、保育園に対し財政的支援を行うこと。また、同様の支援を高齢者、児童、障害者施設などでも行うこと。

以上